

★熊本震災活動報告 5月4日：小規模第72報より抜粋

◆平成28年熊本地震★第2段階★第3クール2日目（5月4日）の活動報告

メンバー：活動者7名+コレクティブ1名+コーディネーター1名

活動：益城町中央公民館にて、連携会議

あんず：日中支援(午前1名・午後3名) 夜間支援(1名)

広安西小学校・中央小学校・ハピネス：様子確認及び保健師との情報交換

<支援内容・活動内容>

◇連携会議

・鍵屋教授（サンダーバード・理事）主催の連携会議（※1）（出席者）福祉避難所施設関係者・介護福祉士会・社会福祉士会・リハビリ協会 地域包括支援センター・益城町役場・医療ソーシャルワーカー協会・キャンナス

◇あんず（※2）

・前日から夜勤者 11時終了。夜勤帯では自立者がほとんど。2名だけ夜間のパット交換があるが、あんずスタッフ対応。支援者が自分のプロフィール（自己紹介用紙）をA4用紙に記載し、あんずスタッフさんに見てもらえるようにしたところ、「とても安心した」とのこと。今後も継続。

・13時～17時 2名。手足の軽体操。トイレ介助、食事介助を行う・13時～ 1名入りそのまま夜勤。

◇益城広安西小学校

・担当保健師に、交流情報センターに介護相談所を開設したことを伝える。7日までに教室から体育館への移動をするために、現在配置の検討中。5/8日に交替。（※3）・現在の避難者200名程度。

◇中央小学校

・交流情報センターに介護相談所を開設したことを伝える。また、先日からかかわっている方については、リハビリの医師と再度、福祉用具について検討する。

・日赤宮城チームより声をかけられたので、介護相談所を開設したことを伝え、
「どこに繋がれば良いのか解らなかったので助かる」とのこと。（※4）

◇交流情報センター

・10時～関係機関申し送りミーティング

・日赤の救護班での診療を徐々に地域の開業医の診療に戻していく。

◇さしおり相談所開設（交流情報センター内）（※5）

・正面玄関入り口に相談所を開設する。

・10時～17時。主に岩手DCATが常駐する。・相談は3件。

・マップ作成において、身障者用トイレが3か所設置してあるが、手すりが1か所しかなく使いにくいいため、福祉用具協会に相談し早急に対応する。

<気が付いたこと等>

- (※1) 会議の場には必ず出席することは重要。
- (※2) 夕方、あんず管理者から「ニュースで聞くが他の施設はスタッフが本当に足りないのでしょうか？」と質問される。夜勤に入ったスタッフからの報告で、現在12名が宿泊。多くの方のご利用者を受け入れているが食費が足りないのは今後どうなるか心配と言われる。費用面についての情報提供が必要である。
- (※3) 各小学校では、今週末に教室から体育館への移動がある。その時点で体育館に移れる人、あふれる方もできる可能性がある。また、その際、危険自宅に戻ってしまう方もおられるのではないかと危惧。
- (※4) 地域の在宅医診療に戻していくことは良いことであるが、通院の手段が課題となる。
- (※5) 相談内容が多岐にわたるため、どこの誰に繋いで行くのか、今後整理し、連携先の把握が必要と感じる。